

九州大学海外派遣留学生 最終報告書		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。
		※ 提出された情報は、海外留学 HP に掲載します。(色のついた部分は掲載しません)
留学先大学名	国立台湾大学 (国名:台湾)	
留学先学部名(またはプログラム名)	歴史系	
留学期間	2012 年 2 月 ~ 2013 年 1 月	
学部/学府・年次	文学部/学府	4 年次~ 5 年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	⑥・無 (期間:1 年間)	
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	①. 4年次に留学したため 2. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したいため 4. その他(具体的に記入)	
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?		
進路の予定	①. 就職 (時期: 4月から / (2014)年 (4)月から) 2. 大学院進学(大学 学府/研究科) 3. その他(具体的に:)	
前項で1と答えた方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)	帰国後すぐ、まずは説明会参加等から始める予定	
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?		
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?		
1. 留学先大学について		
授業(カリキュラム等)の概要について	<p>授業は二種類あり交換留学生のための中国語の授業と台湾大学の一般の授業です。どちらをどのようにとっても基本的に自由です。規則の上で言えば単位を取得しなくても良いということにはなりますが積極的に大学の授業に参加すれば語学も専門の知識も付くのでおすすめです。</p> <p>交換留学生のための語学の授業は私が在学している間に一回システムが変わり、前期は毎日同じクラスメートたちと授業を二時間受けていました。この授業には単位がなくあくまで留学生のサポートというようなスタイルでした。しかし後期にはいると月水金曜日は単位取得できるクラス、火木曜日は加强班という補強クラスのようなものが導入されました。どちらも二時間ずつでしたが、毎日交互にクラスが変わるのでいろんなタイプの留学生と交流できてよかったです。今後どうなるか分かりませんがおそらく二学期目の授業スタイルのままでと思います。</p>	

<p>留学先大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p>留学生課の方たちは皆さん英語が堪能で特に不自由することはありませんでした。オリエンテーション等も英語でしたし、とにかく留学生は中国語よりも英語を話すことが出来る能力を求められているような気がしました。留学が決定した方はぜひ英語も磨かれてください。</p> <p>寮に関して言えば住居決定のお知らせがくるのが遅く、私は押さえ金の振込締め切りの日の夜にメールを受け取りました。早く連絡し入金しないと部屋はキャンセルすると文面にあったので急いで国際電話をかけ、その場にいた日本人留学生の方が通訳してくださったのでどうにかできました。実際他の国の方々は割とルーズで少しくらい期限が過ぎても大丈夫だとおっしゃっていましたが、これから留学する側としてはハラハラです。</p> <p>環境は日本と大差なく、とても快適に過ごせました。</p>
<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>台湾大学は台湾トップの大学ですから、学習面に関してはかなり充実していますし、留学生にも慣れています。学科の幅も広く私は特に日本語学科の子と言語交換したり、一緒に遊びに行ったりして仲良くしていました。キャンパスはとても広いですが学生もかなり多いので人口密度が高くて少し息苦しい感じがしなくもありませんが、その分知り合いもどんどん増えて行くと思います。</p> <p>他の大学の学生さんと接する機会はあまりありませんでしたが、私は語学力の向上、専攻分野の探求、外国文化体験などの面において台湾大学を選んで正解だったと思います。</p>

<p>同じ大学への留学を希望する人々へのアドバイス</p>	<p>台湾留学の利点は語学の授業と一般の大学の授業どちらも受けれることにあると思います。(確か中国大陆では語学検定の資格を取らないと一般の授業を受けることが出来なかったように思います。)語学を延ばそうと思って中国大陆に留学する方はかなり多いと思いますので台湾は穴場だと思いますよ！使われている漢字は少し違いますが会話の面では全く問題ないですし、語学検定を受ける際も私はほとんど問題ありませんでした！台湾大学の学生さんの中には九大への留学を希望されている方もいますし、どんどん双方の交流が深まってほしいです。</p>
-------------------------------	---

2. 事前手続き(ビザ申請など)

<p>ビザの種類</p>	<p>Resident visa</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>台北駐大阪経済文化弁事所福岡分処</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>特に難しいことはありませんでした。 福岡事務所の方は日本語も中国語も堪能でしたから分からないことがあればすぐ電話で質問をし解決しました。 健康診断証を提出しなければならないのですが病院の方々も中国ビザのはしたことあるけど台湾のは・・・と言われ、こちらと色々相談をしながら診察していただいたので実際に提出するまでは不安でした。事務所の方に聞いてもおすすめの病院等は教えていただけなかったため私は南区の福岡病院に行きました。朝一番に行くのがおすすめです。かなり待つこともありました。</p>
<p>手続きに要した時間</p>	<p>一日(私の場合は忘れて終いましたが申請の翌日受け取りが出来るとHPにあります。)</p>
<p>その他必要な事前手続き</p>	<p>特になし</p>

3. 日常生活

<p>日常生活の概要、感想</p>	<p>台湾は気候の変化が激しく、昨日は半袖を着ていたのに今日はダウンジャケットということが当たり前にあります！体調管理には気をつけた方が良いと思います。</p> <p>食事の面では私は何でも対応できるタイプだったので問題はありませんでした。普通に大学の周りを歩いても台湾独特な匂い(臭豆腐など)がするみたいです。人によってはかなりダメージがあったようでした。</p> <p>台湾大学の周りは既に発展した町で交通の便も良いですし、夜でも人通りは多い方だと思います。しかし日本とは違って人も車もバイクも自分が自分が！という態度でしたので、交通事故を目撃することもありました。</p> <p>日常生活に必要なものもすぐに手に入ったので、行きに頑張って荷物を沢山持って行く必要なかったな・・・と思ってしまいました。</p>
<p>生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)</p>	<p>生活費計 50000 円/月</p> <p>(生活費内訳)住居費:21000 円、 光熱水料:1500 円、 通学費:0 円、 食費:22500 円、 電話代:300 円、 インターネット代:0 円、 書籍代:0 円 その他:(具体的に)</p> <p>学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば) 円 (徴収された費用の名目を具体的に:)</p>
<p>日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)</p>	<p>パソコンは自分のものを持っていた方が絶対に良いです。台湾は日本で私たちが学んだ中国語の打ち込み方法とは違い“注音”という方法を用いますから大学のパソコンで中国語をうつのは至難の業です。勿論勉強すれば注音でも打てるようにはなりますが、私は断念しました。あと繁体字は打てるようにパソコンを設定しておいた方が良いかと思います。台湾の人たちは自分たちの文化を大切にしていますので大陸では簡体字が一般的ですが、たとえ初心者相手であっても当然のように繁体字を使って中国語の授業は行われます。郷に入れば郷に従えです。繁体字を使いましょう！違いを発見するのも結構面白いですし、私は今は繁体字の方が得意です。</p> <p>変圧器は不要ですが、変換器はあった方が良いでしょう。無くてもほとんど問題はありませんでした。ものによってはコンセントプラグの形が日本と違うものがあります。あと中国語の辞書はあった方が良いでしょう。私は電子辞書を持参しました。それ以外は台湾で買えるものがほとんどなので気にしなくても良いでしょう。</p>
<p>これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス</p>	<p>雨が非常によく降ります。傘は折りたたみだけでなくしっかりしたものを現地で調達したほうが良いです。あと自転車はあった方がかなり便利です。台湾大学は台北市の 1/100 の面積がありますから歩くと授業に間に合わないことも多々あります。オリエンテーション等で安価で中古自転車を買う方法などを教えてくれると思いますから色々考えてみてください。</p> <p>Student volunteer が申請すると付いてくれると思いますが、人によっては一回も会うこと無く終わってしまう場合もあるようです。私はボランティアの子と相性がよく、そこから友だちを増やすことが出来たので自分から積極的にコンタクトをとった方が良いでしょう。割と日本人には日本語学科の子や日本語を勉強している子が割り当てられることが多いので言語交換の相手になってくれる場合もありますよ！</p> <p>治安は特に問題ないです。ただ観光本にも載っていますが龍山寺の周りは割と古い街が多く、異様な雰囲気もありますから夜に一人でその辺の夜市に行かない方が良いでしょう。</p>

お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	出発する際にある程度必要な分は日本円と台湾元で持って行き、残りはクレジットカードから引き落とすようにしていました。色々やり方はあるようですが、クレジットカードはあった方がいいと思います。あちらで旅行に行きたいと思ったときに飛行機の払い込みがクレジットカードか台湾の銀行口座からという場合が多かったです。
--	---

4. 住居、生活環境

住居の種類(○印をつける)	・ <input checked="" type="radio"/> ・ホームステイ ・民間アパート ・その他()	
住所／電話番号	台湾大学水源宿舍	
費用(月額)	7100 元	
どのようにして見つけたか	大学からの案内ハンドブックに紹介されていました。	
次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。	私は一人部屋でシャワートイレ付きのキッチンなしでした。台湾は外食文化なのでほとんど問題ないですし、一階のロビーにレンジや流し台など最低限のものはありますから自炊しようと思えば出来ます。住み心地は良いですし、ずっとロビーカウンターに係の人がいるので何かあってもすぐ対応して下さります。	
留學生活を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報	<p>授業に関して言えばあちらはかなり留学生慣れしているので臆せず授業に出てみてください。私は後期から中国語を使った授業に出席し始めましたがもっと早くから積極的になればよかったと思いました。言語が多少不自由でも先生や TA の方が柔軟に対応して下さります。お陰で単位を無事とることが出来ました。中国語を話す良い機会にもなりますよ！</p> <p>台湾は九州より狭いですが見所が沢山あります！ぜひいろんな所を旅してみてください。交通費も安いです。高速鉄道(日本で言う新幹線のようなもの)は少し値段が張りますが時間帯によっては学生割引でかなり安くなります。日帰り旅行が出来る範囲もかなり広がると思うのでぜひ使ってみてください。高速バスも日本のものに比べて心地いいですよ！</p>	

5. 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト

サイト名	URL	コメント
台北駐日経済文化代表処	http://www.roc-taiwan.org/ct.asp?xItem=210931&CtNode=11236&mp=202&xp1=	ビザについて紹介があります。

福岡分処	http://www.roc-taiwan.org/JP/FUK/mp.asp?mp=257	ここにビザを申請しに行きました。
福岡病院	http://www.fukuoka-nh.jp/	健康診断を受けた病院
6. その他の特記事項		